

## トピックス

★若手4人にIBM科学賞 優れた業績の若手研究者に贈られる今年の「日本IBM科学賞」に、4分野の4人が決定した。

コンピューターサイエンス分野には、体内時計に関連する遺伝子の働きを大規模に統計的に解析した上田泰己理化学研究所プロジェクトリーダー(34)が、エレクトロニクス分野には、柔軟な電子回路の有機トランジスタ研究をリードする染谷隆夫東京大教授(41)が選ばれた。物質の内部構造を調べる計算手法を開発した福島孝治東京大准教授(40)が物理分野で、磁気の性質を持つ化合物を作り、電磁波吸収材料などへの応用を可能にした大越慎一東京大教授(44)が化学分野で選ばれた。

★温暖化懐疑論への反論

地球温暖化は人間活動に伴う二酸化炭素の増加が主な要因だとの説に対する懐疑論は「これまでの科学の蓄積を無視しており、社会に広まることを看過できない」として、東京大など5大学が参加するサステイナビリティ学連携研究機構が、反論を集めた「地球温暖化懐疑論批判」を出版した。

冊子の配布は終了したが、機構のウェブサイト(<http://www.ir3s.u-tokyo.ac.jp/>)から入手できる。